

## 6 商工費

### 1 商工費 2 商工振興費

[担当：産業振興課] P. 263

2001 商工業振興助成に関する経費 27,369,123 円 (57,019,886 円)

[その他 1,147,500 円 一財 26,221,623 円]

\* 特財内訳

[使用料：駐車場使用料 1,147,500 円]

#### ○ 目的

市商工会や市内商店街への助成等を行うことにより、市の商工業の発展及び地元消費の拡大に寄与することを目的とする。

#### ○ 内容

①市営駐車場用地借上料 998,643 円

用地所有者：茨城県厚生農業協同組合連合会(東1丁目地先取手協同病院跡地)

駐車場貸出可能台数 40 台

②商店街活性化事業補助金 1,640,000 円

補助率：事業費の1/2・限度額 200,000 円

10 団体(市内7商店会、東・西口イルミネーション、ソニックガーデン)

③商工会事業補助金 19,224,225 円

取手市商工会職員の人件費 16,873,200 円

産業振興 I C T 推進事業 2,351,025 円

④とりで産業まつり補助金(第36回) 2,000,000 円

期 日	平成 29 年 11 月 4 日(土)、5 日(日)
場 所	取手緑地運動公園
参加者	47,000 人

⑤取手市藤代商工祭補助金(第42回) 1,000,000 円

期 日	平成 29 年 10 月 1 日(日)
場 所	宮和田商店街通り
参加者	7,000 人

#### ○ 効果

商工会や市内商店会へ助成することにより、商工会事業の安定化や市内商店会の活性化に寄与することができた。

[担当：産業振興課] P. 263

2002 買い物弱者支援事業に関する経費 2,000,000 円

[国・県 890,000 円 一財 1,110,000 円]

\* 特財内訳

[県補：生活環境づくり支援事業補助金 890,000 円]

#### ○ 目的

既存スーパーの撤退、地元商店街の衰退、市民の高齢化に伴う買い物弱者への買い物環境の改善を図るために、市内に移動販売車を巡回する。

○ 内容

買い物が困難な市民に対して移動販売車にて生鮮三品等の買い物の場を提供する事業者に対し、取手市買い物弱者支援事業補助金交付要綱に基づき、人件費の一部（販売補助員）を支援する。

補助額 2,000,000 円

○ 効果

買い物環境の向上と販売補助員の配置誘導をすることにより、高齢者への買い物介助や見守り等、きめ細やかな対応に繋がる効果があった。

販売力所数：18 地区 22 地点 利用者数：13,079 人

[担当：産業振興課] P.263

2101 中小企業事業資金融資あっ旋事業に要する経費 93,448,746 円  
(110,834,824 円)

[国・県 110,343 円 その他 34,003,400 円 一財 59,335,003 円]

\* 特財内訳

[県補：関東・東北豪雨災害緊急対策融資利子補給費補助金 110,343 円]

[諸収入：自治金融資金貸付金元利収入 34,003,400 円]

○ 目的

市内の中小企業者に対する事業資金の保証を強力に斡旋し、市内中小企業者の金融の円滑化を図ることにより、企業の安定と繁栄に寄与することを目的としている。

○ 内容

取手市中小企業事業資金融資斡旋制度

茨城県信用保証協会の基本財産である出捐金の拠出を行うとともに、市内金融機関に1年間の預託を行うことにより、融資実行利率を低利に抑え、制度の基盤を強固なものにした。また、制度利用者に対し保証料を補助することにより制度利用者の負担軽減を図った。

(1)制度の内容

内 容	自 治 金 融			振 興 金 融		
	設 備	1,000 万円	返済 7 年	設 備	2,000 万円	返済 7 年
運 転	1,000 万円	返済 5 年	運 転	2,000 万円	返済 5 年	
保証料	年 0.45%~1.90%					

(2)保証料補助の内訳

制 度	備 考
自治金融	新規 186 件、過年度 448 件
振興金融	新規 79 件、過年度 177 件
自治金融・振興金融保証債務残高	4,637,476,000 円 (1,043 件)

(3)その他(本制度に伴う経費)

制 度	金 額	備 考
自治金融預託金	33,000,000 円	市内金融機関 7 行 14 支店に預託 (平成 29 年 10 月 17 日~平成 30 年 10 月 17 日)
損失補償寄託金	6,100,000 円	茨城県信用保証協会に寄託

○ 効果

中小企業者が金融機関から事業資金の融資を受ける際、市が公的な保証人となることにより、借入が容易になり、中小企業の融資が円滑に実行され、経営の安定化が図られた。

**[担当：産業振興課] P.265**

**2701 中小企業育成事業に要する経費 1,003,768円(115,600円)**

[一財 1,003,768円]

①産業振興チャレンジ支援事業補助金

○ 目的

取手市の創業支援事業のプログラムを利用した起業者に対して、創業時の費用負担を軽減する目的で、補助金を交付する。また、利用可能な店舗は市内店舗のみのため、市内経済の活性化も図られる。

○ 内容

Matchとりでにて、起業家カードを発行された起業者に対して、上限10,000円を補助する。

産業振興チャレンジ支援事業補助金 利用者 13名 108,768円

○ 効果

補助金を交付することにより、起業の促進及び市内経済の活性化が図られた。

②市民事業活動促進補助金

○ 目的

市民がおこなう営利活動やNPO法人等の非営利活動での事業活動を促進し市内における経済活動の活性化をめざす。

○ 内容

市民が事業活動を行えるインキュベーションオフィス等の利用料金(光熱水費、通信費その他事業者が実費として支払うもの及びオプションサービスにかかる費用をのぞく。)が月額10,000円以上の場合における当該利用料金の100分の50に相当する経費を最大で1年間補助する。

市民事業活動促進補助金 利用者 7名 895,000円

○ 効果

補助金を交付することにより、市民の事業活動を支援することができ、市内経済の活性化を図ることができた。

**[担当：産業振興課] P.265**

**2801 産業振興に要する経費 84,356,235円(87,409,789円)**

[国・県 24,777,000円 地方債 9,700,000円 一財 49,879,235円]

\* 特財内訳

[国補：地方創生推進交付金 24,777,000円]

[市債：創業支援施設整備事業債

(21,600,000円-10,800,000円)×90%≒9,700,000円]

## ①産業活動支援制度

### ○ 目的

企業の事業拡大に伴う土地・家屋・設備の固定資産税相当額（初年度 10/10、2 年目以降 5 年目までは 1/2）の施設奨励金及び従業員の新規雇用 1 人に対し 10 万円の雇用促進奨励金（初年度のみ）を交付し、企業活動の支援を行い市内経済の拡大を図る。

### ○ 内容

- (1) 産業活動支援施設奨励金 施設奨励金 7 社 9 件 32,626,000 円  
固定資産税相当額（建物・償却資産）（新規 2 社 2 件、継続 5 社 7 件）
- (2) 産業活動支援雇用奨励金 新規雇用に対する奨励金 1,600,000 円  
新規雇用者 2 社 2 件 16 名

### ○ 効果

固定資産税相当額及び従業員の新規雇用奨励金を交付することにより、企業の事業拡大の支援及び雇用の確保をし、市内経済の拡大を図れた。

## ②創業支援事業

### ○ 目的

国が示す開廃業率の向上を目指すため、地方創生先行型の交付を受け、インキュベーションオフィス「Match-hako」を平成 28 年 2 月にオープンした。平成 29 年度は龍ヶ崎市と創業支援における広域連携協定を締結し、支援範囲を広げ、多くの起業家の発掘を目指した。また、地域での創業支援スキルの向上やお互いの広報協力のために、地域の商工会、金融機関、大学とも連携し Match 広域連携推進本部を結成した。さらに地方創生推進交付金を活用し、取手駅前にチャレンジショップ MATCH MARKET を開設し、幅広い業種の起業家を支援する。

### ○ 内容

創業支援事業補助金 49,554,000 円

### ○ 効果

龍ヶ崎市との連携及び Match 広域連携推進本部を設立したことにより、創業スクール、ビジネスプランコンテスト等を連携して実施することができた。MATCH MARKET でも、これまで支援が難しかった業種の起業家に利用していただき、より多くの起業・創業を支援することが出来た。

## [担当：産業振興課] P. 265

### 2901 空き店舗活用事業に要する経費 4,520,000 円（470,000 円）

[一財 4,520,000 円]

### ○ 目的

市内空き店舗の有効利用、まちの賑わいづくり推進のため、市内空き店舗に新規出店する者に対し補助金を交付することにより、買い物がしやすい環境づくり及び活性化を図る。

### ○ 内容

- ① 改装費補助 事業費の 1/2 補助（上限 100 万円）
- ② 家賃補助 家賃月額額の 1/2 補助（月額補助の上限 5 万円）補助期間 12 か月

### ○ 効果

補助金を交付することにより、市内空き店舗への新規出店の促進ができ、まちの賑

わい推進が図れた。

改装費補助 3件 3,000,000円 家賃補助 4件 1,520,000円

### 1 商工費 3 労働対策費

[担当：産業振興課] P.267

2001 労働対策に関する経費 1,902,730円 (2,102,988円)

[その他 5,134円 一財 1,897,596円]

\* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 5,134円]

#### ○ 目的

地域職業相談室（取手市ふるさとハローワーク）において、国と市が連携しながら、職業相談・職業紹介サービスを提供し利便性の高い市民サービスの向上を推進し、安定した雇用機会の確保、就職の促進を図る。

#### ○ 内容

施設を藤代庁舎2階に設置（94.08㎡）し、国と市の共同で管理運営を行う。

業務時間	毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後5時		
主な業務	職業相談、職業紹介と求人情報の提供		
相談員	国 2名	受付事務	市 2名

#### ○ 効果

市内に地域職業相談室を設置したことで、身近で職業相談、職業紹介サービスを受けることが出来るようになり、利便性の向上と就職の促進が図れた。

平成29年度年間利用者数 8,173人

[担当：産業振興課] P.267

2002 勤労青少年体育センター管理運営に関する経費 6,267,275円 (1,169,954円)

[国・県 1,047,000円 地方債 3,300,000円 その他 1,277,200円 一財 643,075円]

\* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成分）

3,142,000円×1/3≒1,047,000円]

[市債：勤労青少年体育センター施設整備事業債

(3,142,000円-1,047,000円)×90%≒1,800,000円]

[市債：勤労青少年体育センター施設整備事業債

(5,238,000円-3,142,000円)×75%≒1,500,000円]

[使用料：施設使用料 386,200円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 体育センター補強工事実施設計業務委託（補助分）  
295,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 体育センター補強工事実施設計業務委託（単独分）  
596,000円]

#### ○ 目的

勤労青少年体育センターの適切な維持管理を行う。また、同施設は昭和49年に設置され、老朽化が目立っている。利用者が多い施設であるため利用者の安全確保を目的に、耐震補強及び改修工事の実施設計を行った。

○ 内容

需用費（光熱水費、修繕料） 588,044 円

役務費（火災保険料） 9,231 円

委託料

・ 体育センター清掃委託料 432,000 円

・ 体育センター耐震補強工事実施設計業務委託料 5,238,000 円

○ 効果

施設の適切な維持管理を行うことにより、利用者の健康増進・体力向上・地域活動を行うための場として利用環境の充実に寄与した。

平成 29 年度利用者数 6,451 人

**1 商工費 4 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理費**

[担当：産業振興課] P. 269

2001 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理運営に要する経費 11,566,399 円  
(16,884,543 円)

[その他 1,155,280 円 一財 10,411,119 円]

\* 特財内訳

[使用料：働く婦人の家・勤労青少年ホーム使用料 1,124,690 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 2,649 円]

[諸収入：コピー使用料 13,490 円]

[諸収入：印刷機使用料 14,451 円]

○ 目的

利用者が余暇を使い趣味の活動や学習活動をするために運営し、施設を良好な状態に保つために維持管理を行い、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

働く婦人の家の適切な維持管理を行う。主な経費は報酬、共済費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料である。

・ 報酬 2,951,268 円（一般職非常勤報酬）

・ 共済費 10,635 円（雇用保険料）

・ 旅費 48,210 円（費用弁償）

・ 需用費 4,707,984 円（消耗品、光熱水費、修繕料、他）

・ 役務費 142,811 円（通信運搬費、手数料、他）

・ 委託料 3,346,026 円（清掃管理委託、消防設備保守点検委託、他）

・ 使用料及び賃借料 359,465 円（コピー使用料、他）

○ 効果

施設の適切な維持管理を行うことにより、利用者の趣味の活動や学習活動を行うための場として、利用環境の充実に寄与した。平成 29 年度利用者数 43,020 人

[担当：産業振興課] P. 269

2101 働く婦人の家・勤労青少年ホーム活動に要する経費 227,932 円(235,155 円)

[その他 42,820 円 一財 185,112 円]

\* 特財内訳

[諸収入：講座参加個人負担金 42,820 円]

○ 目的

働く婦人及び勤労青少年の福祉の促進と健全な育成を図る。

○ 内容

簿記3級講座 延回数 20回 延参加人数 71人

○ 効果

働く婦人及び勤労青少年に対する教養・趣味・レクリエーション・余暇等の活用の機会を提供し、地域住民との交流を深め、健全な育成と福祉の増進を図ることができた。

## 1 商工費 5 消費生活対策費

[担当：産業振興課] P.271

2001 消費生活対策に要する経費 9,001,635 円 (7,548,965 円)

[国・県 1,949,000 円 その他 19,170 円 一財 7,033,465 円]

\* 特財内訳

[県補：消費者行政推進事業費補助金 1,949,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 19,170 円]

○ 目的

消費者の権利の尊重と自立のための支援及び苦情や被害を未然に防止するための情報を提供し、市民の消費生活の安全を確保する。

○ 内容

主な経費は、非常勤特別職として委嘱している消費生活相談員3名の人件費（報酬、共済費）及び消費生活セミナー開催に係る報償費、スキルアップのための研修費、啓発用品、消費生活展委託料である。

・消費生活相談員報酬	6,480,000 円
・共済費	994,224 円
・報償費	188,800 円
・研修旅費	84,730 円
・需用費(啓発用品等)	402,193 円
・消費生活展実施委託料	650,000 円

### (1) 消費生活相談業務

市民の消費生活上の苦情・相談の問題解決にあたり、消費者被害の救済及び消費者被害の未然防止を図り、消費者保護に努めた。

業務日	月曜日～金曜日
相談時間	午前9時～午後4時
相談員数	3人
相談件数	1,111件 (H28:1,052件)

### (2) 消費生活展

市民を対象に消費者問題を多面的かつ具体的に取り上げ、参加者に対し問題提起や啓発を行うことで消費者力の向上を図った。

(消費生活展)

開催日	平成 29 年 10 月 6 日(金)～7 日(土)
場 所	福祉交流センター 多目的ホール
来場者数	550 人 (H28:500 人)

(パネル展示)

開催日	平成 29 年 5 月 31 日(水)～6 月 6 日(火)
場 所	取手駅市民ギャラリー

開催日	平成 30 年 2 月 15 日(水)～3 月 15 日(木)
場 所	勤労青少年体育センター (申告会場)

(3) 消費者啓発事業

市民が消費生活に必要な知識を習得する機会を提供し、消費者被害の未然防止を図った。

(消費者セミナー第 1 回目)

開催日	平成 29 年 5 月 20 日(土)
場 所	ウェルネスプラザ 多目的ホール
事業概要	茨城県警察音楽隊を迎え、一般市民を対象に寸劇や音楽を通して悪質商法等について楽しく学ぶ 講師：茨城県警察音楽隊／消費生活相談員
来場者数	350 人

(消費者セミナー第 2 回目)

開催日	平成 29 年 11 月 15 日(水)
場 所	ウェルネスプラザ 多目的ホール
事業概要	一般市民を対象に落語を通してエンカル消費や悪質商法について楽しく学ぶ 演題：落語で楽しく学ぼう 落語家：立川平林
来場者数	160 人

(消費者セミナー第 3 回目)

開催日	平成 30 年 2 月 20 日(火)
場 所	福祉交流センター 多目的ホール
事業概要	演題：片付けから始めよう「生前整理」 講師：生前整理アドバイザー 徳山ひろみ
来場者数	90 人

(出前講座)

実施回数	23 回 (H28:9 回)
場 所	集会所・公民館・小学校学童クラブ室等
テーマ	悪質商法などの最近の事例と対処法について
対 象	高齢者クラブ・市内自治会・小学生等
参加者数	628 人(H28:234 人)



○ 効果

市民の消費生活に関する相談（苦情、問い合わせ）では、相談者が自ら解決できるよう適切なアドバイスをしたり、様々な情報を提供することで、消費者被害の未然防止に尽力した。また消費生活展、消費者セミナー、出前講座を通じて、消費者被害の現状や被害に遭わないための対処法等の情報を発信し啓発を行うことで、市民の消費生活の安全と保護に貢献できた。

**1 商工費 6 観光費**

[担当：産業振興課] P.273

**2001 観光事業に関する経費 39,826,869 円 (36,015,520 円)**

[一財 39,826,869 円]

○ 目的

本市の観光事業の振興を図るため、市観光協会の各事業に対し助成を行い、郷土愛の高揚に貢献する。

○ 内容

- (1) 小堀古利根周辺の清掃管理委託料 360,000 円
- (2) 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会負担金 526,000 円  
(茨城県国際観光テーマ地区推進協議会負担金 70,000 円含む)
- (3) 市観光協会補助金 33,403,000 円

観光協会主催事業

行事名	期日	場所	参加者
第 64 回とりで利根川大花火	平成 29 年 8 月 12 日 (土)	取手緑地運動公園	100,000 人
取手駅前にぎわいフェスタ	平成 29 年 10 月 8 日 (日)	取手ウェルネスプラ ザ及び取手駅西口周 辺	3,000 人
第 51 回とりで利根川 たこあげ大会	平成 30 年 1 月 13 日 (土)	取手緑地運動公園	3,000 人
第 48 回とりで利根川 どんどまつり	平成 30 年 1 月 13 日 (土)	取手緑地運動公園	2,500 人
第 5 回とりで観光フォト コンテスト	平成 30 年 2 月 14 日 (水) ～3 月 2 日 (金)	ふじしろ図書館	-----
第 14 回桜ライトアップ事業	平成 30 年 3 月 23 日 (金) ～4 月 8 日 (日)	老人福祉センター さくら荘	2,500 人
いばらきよいとこプラン春 取手の魅力を体験！キリンビ ール&日本ファブテック見学 ツアー	平成 29 年 4 月 8 日 (土)	市内各所	26 人

いばらきよいとこプラン秋 東京藝大学祭「アートパス」 &キリンビール取手工場見学 ツアー	平成 29 年 12 月 2 日 (土)	市内各所	28 人
---	-------------------------	------	------

観光協会補助事業

行事名	期日	場所	参加者
第 40 回こども天国	平成 29 年 4 月 29 日 (土)	取手緑地運動公園	25,000 人
とりで夏まつり	平成 29 年 8 月 1 日 (火) ～8 月 31 日 (木)	市内各所	-----
第 42 回とりで利根川 灯ろう流し	平成 29 年 8 月 26 日 (土)	利根川河畔	2,500 人
取手ひなまつり	平成 30 年 2 月 14 日 (水) ～3 月 3 日 (土)	市民会館、商工会 市内各商店	10,000 人

常総観光促進協議会事業

構成組織：取手市・つくばみらい市・常総市・関東鉄道(株)

行事名	期日	場所	参加者
いばらきよいとこプラン春 飲み会だよ!!全員集合常総 地方酒蔵めぐりの旅	平成 29 年 5 月 20 日 (土)	常総地方各所	25 人
いばらきよいとこプラン秋 満腹・幸せの旅!常総地方 ミステリーツアー～スオー ○づくしの旅パートⅡ～	平成 29 年 11 月 25 日 (土)	常総地方各所	26 人
観光案内アプリ開発 (ふらっと!294)	取手市、つくばみらい市、常総市、関東鉄道(株)それぞれの 観光スポット等をGPS機能を使い、各市のオリジナル キャラが案内するスマートフォンアプリを製作 ※平成 30 年 5 月から開始		

観光協会参加事業

行事名	期日	場所	参加者
常総千姫まつり	平成 29 年 4 月 8 日 (土) ～9 日 (日)	常総市	10,000 人
キリン一番搾り体感バー	平成 29 年 4 月 25 日 (火) ～26 日 (水)	取手駅西口改札前	600 人
荒川遊園水辺フェスタ	平成 29 年 6 月 25 日 (日)	東京都荒川区	3,600 人

キリン一番搾り体感バー	平成 29 年 9 月 6 日 (水)	取手駅西口改札前	300 人
茨城シクロクロス大会	平成 29 年 10 月 9 日 (月)	小貝川リバーサイドパーク	1,500 人
あぶらめん住区まつり	平成 29 年 10 月 15 日 (日)	東京都目黒区	500 人
キャノンオープンデー	平成 29 年 10 月 21 日 (土)	キャノン取手事業所	2,500 人
南相馬市復興支援イベント	平成 29 年 11 月 2 日 (木) ～3 日 (金)	福島県南相馬市	18,000 人
サイクルアート フェスティバル	平成 29 年 11 月 19 日 (日)	取手競輪場	12,000 人
キリン一番搾り体感バー	平成 29 年 11 月 28 日 (火)	取手駅西口改札前	300 人
ふるさといばらき 観光物産展	平成 30 年 2 月 1 日 (木)・ 2 月 22 日 (木)	東京エアシテイターミナル (東京都中央区)	-----
スプリングマルシェ	平成 30 年 3 月 24 日 (土) ～25 日 (日)	有楽町駅前 (東京都千代田区)	-----

○ 効果

とりで利根川大花火や、たこあげ大会、どんどまつり等の恒例行事は、天候にも恵まれ多くの観光客が来場した。近年では観光情報誌「るるぶ取手」の配布や、都内の観光イベントへの積極的な参加等によるPR効果もあり、市民だけでなく首都圏周辺からの来場者も増加している。また、駅前にぎわいフェスタにおいては、取手駅前の商業関係者や企業、市民団体等との協働により、駅周辺の賑わいの創出に向け地域一体となって取り組むことができた。

その他、常総観光促進協議会によるバスツアー事業や観光促進アプリの開発等、茨城県南の広域連携による観光誘客促進を図ることができた。